

# よりそう

Side by Side



第158号

編集責任：三好

編集担当者

## 「相撲やろうよ！」

大植相撲祭り 2012. 3. 18

企画・発案・実施 田淵一平太

「相撲やろうよ！」

この一言が全ては始まった。とはいえ、自分から企画を出すのは初めて。現実、イベントを作るのに、どれ程の前準備と協力がいるか、ということも痛感させられ、何度も行き詰まった。

それと同時に、どれ程人々との繋がりが大切かという事を改めて考えさせられた。

どれだけ人が来てくれるのか？

どのような形になるのか？

最後まで不安を抱えたまま当日を迎えた。

結果は、想像していたどの形とも違っていた気がする。

来てくれた人は、本当にごく僅かではあったものの、会場には常に笑顔が絶えなかった。

「地元の人も、ボランティアも一緒に楽しめるイベントを」

そんな「いから始まる」この企画、先頭に立つ以上、自分が(さ)しなければという気負いがあった。しかし、本当はそんな気負いが必要など全くなかった。大事なのは、みんな

一緒にあって造っていくということ。この復興のためにみんなの手で繋がっていくもの。

「みんなと一緒に」

私の考える理想の形が小さくともそこにはあった。

今回、何よりも嬉しかったのは「本当に楽しかった」「6月の町内大会にも是非来たい」という声を地元の方、ボランティア問わず多く頂けたこと。

この声を聞いた時、はじめて肩の荷がおりた気がした。

この日のためにご尽力いただいた全ての方に、心から感謝、感謝である。今回のイベントが6月に行われる「大植町相撲大会」に繋ぐ、十分な役割を果たせた事を心から願う。(おわり)



◎ 群馬県在住のボランティアの方へ、上毛新聞社から連絡をとりたい、と要請があります。事務局の細川さんへおしらせ下さい。

3/22(木)ボランティアミーティングはPM5:10～男子宿泊棟  
3/21(水)の宿泊：90人、活動：181人(中学生14名が参加はた!!)

3/22(木) 天気 曇後晴

気温 10℃(高)

降水確率 20% 以上大降

活動して得た感想、意見、提案などを投稿して下さい。用紙は掲

まごころ種 募集

くわしくはHPへ

示してある下の箱にあります。